宇都宮市立上戸祭小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
多様な情報から読み取ったイメージを、絵や図、言葉などで表現する力の育成	自分が読み取ったことをノートに書く活動を積極的に取り入れ、児童同士の考えを交流させ、多様な表現や考えを広げたり、深めたりする場を設けている。	第6学年算数大問17「単位量あたりの大きさ・速さ」の(2)「同時にゴールするために、兄が走る時間と弟が走る速さから、弟が走る距離を何mにすればよいか判断することができる」の正答率が41.9%で、市の平均を0.1ポイント下回った。
児童一人一人が主体性をもって取り組むための導入や課題設定の工夫	児童の知的好奇心を高められるような授業の導入や課題設定、発問など各学年で教材研究を行っている。	「学習に対して自分から進んで勉強していますか」に肯定的に回答した児童の割合は、1～4年生では80%以上で市の平均を上回ったが、5、6年生では70%台で市の平均を下回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方角性

・記述式設問の無回答率は市の平均と比べてほぼ同等であり、多様な情報から読み取ったイメージを表現する力の育成に取り組んできた結果と考えられる。次年度も継続して、すべての学年において自分の考えをノートに書いて伝え合う活動を意図的に取り入れ、より一層表現力の育成に努める。

・「学習に対して自分から進んで勉強していますか」に肯定的に回答した児童の割合は、1～4年生では80%以上だが、高学年の割合は70%台であるため、次年度も継続して児童の学習意欲を喚起するような授業展開を工夫していく。